【国立市】
ネットワーク整備計画

１　必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（%）

→　０%（全１１校中０校）

２　必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

①　解決すべき課題の特定過程とその具体内容について

文部科学省が令和６年４月に発出した「学校のネットワーク改善ガイドブック」にて学校規模ごとのネットワーク推奨帯域が示されたことを受け、令和６年５月から８月にかけて、学校におけるネットワーク速度の実測値調査及び児童・生徒のネットワーク速度体感調査を実施した。これにより、推奨帯域値に達している学校は、残念ながら市立小・中学校全１１校中０校であり、回答のあった児童・生徒のうち半数以上は、ネットワーク速度が遅いことで授業に支障をきたす場面を経験していることが判明した。

また、市立小・中学校１校において、事業者によるネットワークアセスメントを同時期に実施し、学校内のネットワークについて調査を行った。その結果、学校内に配備されているネットワーク機器類には問題がなく、ネットワークの接続方式が集約接続であることがネットワーク速度遅滞の原因であると判明した。

以上の調査結果から、市立小・中学校全１１校はすべて同じネットワーク構成であるため、ネットワークの接続方式を変更することがネットワーク改善における課題解決となることを特定した。

②　改善スケジュール

上記を踏まえ、令和７年４月から８月にかけてインターネットの接続方法を直接接続に変更する。市立小・中学校全１１校それぞれにおいて、１０ＧＢ回線の新規契約、既存機器の設定変更、直接接続のためのネットワーク機器の新規購入・設置等を行い、令和７年度２学期からの運用開始を目指す。

運用開始後においては、定期的に実測値調査、体感調査等を行い、１人１台端末の利活用がさらに活発になることを想定し、引き続きネットワークの速度改善を図っていく。